

お寺大会 エントリーシート

出品者名	大平哲生
作品タイトル	バランス対応2BOX アンプ バランス真空管コントロールアンプ+0db トランジスタアンプ
作品介绍 (回路図や構成図、コスト、出品者本人のコメント・所感など)	<p>外道とはオーディオ道を外れているということでしょう。(勝手な解釈) 言い方を変えれば、極端 (Extreme)、風変わり (Strange)、自由 (Free) という言葉があてはまるのかな？ さて、私のテーマは全段バランスのアンプを作る事です。 ボリューム、プリ、メインの全バランス化は、IC を使えば比較的容易にできそうですが、ひねくれ者の私として。それでは面白味がないし、音味も好みに合わぬと Discrete で実現させようと挑戦してます。</p> <p>構成図</p> <p>この外道アピールポイントは；</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アンプの構成 通常のプリアンプとパワーアンプでは構成するアンプの数が多くそれに伴い部品の数も多くなります。部品数は多ければ多いほど音が劣化しやすくなります。そこでパワーアンプから電圧増幅を無くし、その分、プリを高出力真空管アンプとし、0dbパワーアンプと組み合わせました。結果的に2台でワンセットのアンプになってしまいました。 2. バランス対応ボリュームコントロール 見かけはアッテネータ (減衰器) ですが、信号を減衰させると音が悪くなるのでゲインを可変させています。入力電圧を5極管差動でV-I変換しプレート電流出力を可変抵抗でシャントしてゲインを変えます。セイデンの4段ロータリースイッチ (2接点パラ) と DALE の NS2B、NS5B 無誘導巻き線抵抗48本とで構成されています。

⑦
出品者名

高価なパーツで財布にこたえるのと触ると感電する危険なボリュームです。

3、トランジスタパワー段にレギュレータ

レギュレータをパワー段にも実装すると大電流対応のため回路規模も放熱器も大規模になるのでまずやる人はいません。

しかし、パワー段の電源も安定でないと信号との混変調やノイズの混入が起こり音が汚染されます。そこで低消費電力、低ノイズのパワーレギュレータを考案しディスクリート回路で組み込みました。過電流（7A）又はアンプ出力DCオフセットで保護回路が作動し電源をシャットダウンさせますのでスピーカもアンプも安全です。

Overall コメント

もう1台パワーアンプを作ればBTLモノブロック50Wのステレオになります
が、今後に TBD

今日もまた道を外れて迷い道くねくね。。。。

この用紙は2枚記入し、1枚は作品に添付、1枚は事務局に提出してください。
この作品紹介を参考に大会レポートを作成します。